

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

1. 補助割合が2分の1を越える補助金

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容			見直し状況(結果)	
						H26 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	1/2以下へ の見直し	見直しの内容	分類	左記の内容
1	保健福祉部	国道等	老人クラブ連合会運営費補助金	函館市老人クラブ連合会	S 47	8,126 14,260	7,992 12,308	7,755 11,921	8,004 12,589	見直したうえで補助を継続	—	今後も安定的な運営を図るとともに、補助対象経費の見直しを検討する。	見直し	補助対象経費の一部（老人福祉大会、親睦交流会）を見直し、補助金を削減した（予算ベース）。
2	子ども未来部	国道等	地域組織活動費補助金	母親クラブ（市内27クラブ）	S 49	5,062 7,528	4,995 7,682	3,780 5,856	4,320 5,610	見直したうえで補助を継続	—	補助対象経費の精査により補助割合の見直しを検討するとともに、当該補助金のあり方について検討する。	見直し	平成27年度にこれまで一律だった補助金額を、参加児童数に比例した補助金額となるよう積算基準を見直した。
3	保健福祉部	国道等	精神障害者ボランティア活動支援事業回復者クラブ「陽だまり」活動費補助金	特定非営利活動法人恵愛会	H 8	216 222	216 221	—	—	見直したうえで補助を継続	—	平成25年度から障害者総合支援法で新設・必須化された「自発的活動支援事業」に位置付けすることとし、回復者クラブの自発的社会復帰活動の支援を業務委託する方向で検討する。	廃止	委託事業として継続
4	保健福祉部	国道等	精神障害者ボランティア活動支援事業回復者クラブ「プラタナス」活動費補助金	プラタナス運営委員会	H 11	216 313	216 352	—	—	見直したうえで補助を継続	—	平成25年度から障害者総合支援法で新設・必須化された「自発的活動支援事業」に位置付けることとし、回復者クラブの自発的社会復帰活動の支援を業務委託する方向で検討する。	廃止	委託事業として継続

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

1. 補助割合が2分の1を越える補助金

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容			見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	1/2以下へ の見直し	見直しの内容	分類	左記の内容
5	保健福祉部	条例等	在宅福祉ふれあい事業費補助金	社会福祉法人函館市社会福祉協議会	H 3	34,206 37,210	34,387 38,208	42,364 47,227	43,883 48,985	見直したうえで補助を継続		「函館市在宅福祉ふれあい基金」を活用した地域における福祉活動の促進を目的とした事業であることから、補助割合が2分の1を超えるものの、今後、現行の10分の10の補助割合の見直しを検討する。	見直し	H26年度に補助割合を10分の9に見直したほか、支所管内の同種事業を本事業に組み入れた。 また、平成27年度に社会福祉協議会に対する補助金・委託料の総合的な見直しを行った。
6	保健福祉部	条例等	公衆浴場活性化事業補助金	函館浴場協同組合	H 8	3,200 3,401	3,000 3,201	3,000 3,201	—	見直したうえで補助を継続		市民の保健衛生の向上に資するという公益性・公共性が高い事業であることから、補助割合が2分の1を超えるものの、今後、補助対象経費についての見直しを検討する。	廃止	小規模浴場へのより効果的な経営の安定化を図るため、一定の条件のもと燃油に係る補助を創設、平成27年度末で当補助を廃止した。
7	農林水産部	条例等	農業地域リーダー育成研修事業費補助金	函館市亀田農業協同組合	H 16	294 316	172 173	97 194	200 400	見直したうえで補助を継続	○	事業費の精査により、補助割合の見直しを検討する。	見直し	(H27～) 補助率・限度額見直し 補助率：10分の10 →2分の1以内 限度額：100千円→50千円
8	農林水産部	条例等	漁業地域リーダー育成研修費補助金	函館市漁業協同組合ほか2組合	S 57	600 2,574	0 0	200 411	900 3,050	見直したうえで補助を継続	○	事業費の精査により、補助割合の見直しを検討する。	見直し	(H27～) 補助率・限度額見直し 補助率：10分の10 →2分の1以内 限度額：100千円→50千円

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

1. 補助割合が2分の1を越える補助金

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位：千円)				前回のチェックシートの内容			見直し状況（結果）	
						H26 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	1/2以下へ の見直し	見直しの内容	分類	左記の内容
9	農林水産部	条例等	漁業資格取得費補助金	戸井漁業協同組合ほか2組合	H11.7	264 内訳 (補助金額/事業費額) 函館市漁協 (30/124) えさん漁協 (114/264) 南かやべ漁協 (120/416) 南かやべ漁協 (180/579)	300 1,125 内訳 (補助金額/事業費額) 戸井漁協 (60/251) えさん漁協 (44/89) 戸井漁協 (60/295) 南かやべ漁協 (30/125) 南かやべ漁協 (240/949)	344 1,239 内訳 (補助金額/事業費額) 戸井漁協 (60/76) えさん漁協 (30/76)	450 1,422	見直した うえで補 助を継続	○	上限額（30千円）は現行 のまとどするが、事業費の 精査により、補助割合の見 直しを検討する。	見直し	(H27～) 補助率見直し 補助率：10分の10 →2分の1以内 (限度額：30千円据え置き)
10	教育委員会	条例等	遠距離通学助成事業補助金	保護者個人	H11.1	1,065 1,065	1,097 1,097	1,161 1,161	852 852	見直した うえで補 助を継続		補助基準の見直しについ て、併用する手段、利用日 数等の実態を踏まえたうえ で、今後の市全体の公共交通 のあり方も考慮しなが ら、検討を進める。	見直し	通学費補助要綱の見直しを 行い、新たに通学先の学校長 の証明を受けた実績報告書の 提出と、通学定期券を購入した ときはその写しの提出を求 めることとした。
11	保健福祉部	団体運営	函館市社会福祉協議会補助金	社会福祉法人函館市社会福祉協議会	S4.3	119,852 709,706	123,335 669,947	73,326 681,104	70,776 690,122	見直した うえで補 助を継続		これまで見直しをしてき た補助金であるが、今後も 経費節減や事務事業の見直 しとともに、補助対象人数の 見直しを図るなど、補助 金の縮減に努める。	見直し	平成27年度から社会福祉協 議会に対する補助金・委託料 の総合的な見直しを行った。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

1. 補助割合が2分の1を越える補助金

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容			見直し状況（結果）	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	1/2以下へ の見直し	見直しの内容	分類	左記の内容
12	観光部	団体運営	函館国際観光コンベンション協会補助金	一般社団法人函館国際観光コンベンション協会	S 10	34,400 54,780	34,400 55,261	34,400 51,616	34,400 53,792	見直したうえで補助を継続		会員の獲得、収益事業の充実を促しながら、補助金の縮減に努める。	その他	当該協会は、本市の基幹産業である観光産業やコンベンション誘致などにおいて、行政と連携しながら活動しております。本市観光振興にとって必要不可欠な団体である。しかし、当該協会の運営にあたり、自主財源の主なものである会費については、景気等によって大きく左右されるものであり、近年会費収入は減少している状況である。また、自主財源確保のために有効である新たな収益事業の実施について、取り組みはしているものの、十分な財源確保までは至っていない状況である。これらのことから、当面継続した補助が必要である。
13	教育委員会	団体運営	函館市学校給食会補助金	函館市学校給食会	S 58	16,827 16,907	15,976 16,058	13,603 13,683	13,840 13,920	見直したうえで補助を継続		安全かつ安定的な学校給食を提供する公益性の高い事業を担っている団体であることから、引き続き補助するなかで、法人化など今後のあり方を検討する。	見直し	学校給食費の公会計化の導入可能性を調査、検討するなかで、給食会の組織見直しとして、事務局長の公募化や理事、評議員の構成を見直した。
14	保健福祉部	団体運営	般法華クリニック運営費補助金	医療法人社団清邑会般法華クリニック	H 14	1,454 1,454	—	—	—	見直したうえで補助を継続	○	平成24年度に見直しをした補助金であるが、補助割合の見直しや補助金の廃止について検討する。	廃止	平成26年度からは自主財源で運営する旨申し出があつたため、平成25年度末で補助金を廃止した。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

1. 補助割合が2分の1を越える補助金

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位：千円)				前回のチェックシートの内容			見直し状況（結果）	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	1/2以下へ の見直し	見直しの内容	分類	左記の内容
15	教育委員会	団体運営	函館市子どもの生活を考える会連絡協議会補助金	函館市子どもの生活を考える会連絡協議会	S 5 8	605 755	545 695	—	—	見直したうえで補助を継続	○	これまで見直しをした補助金であるが、補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	廃止	補助対象団体の自立運営により、平成26年度末で補助金を廃止した。
16	子ども未来部	団体運営	函館市子ども会育成連絡協議会補助金	特定非営利活動法人函館市子ども会育成連絡協議会	S 3 9	1,500 1,720	1,500 1,759	1,400 1,649	1,200 1,464	見直したうえで補助を継続		平成24年度に見直しをした補助金であるが、補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	見直し	平成27年度に地区活動費の見直し、平成28年度からは、事業参加者の施設入場料や宿泊料など個人に係る経費は受益者が負担すべきとの考え方から補助対象外経費とし、事業参加費を増額するなどの見直しを行うこととした。
17	教育委員会	団体運営	函館子ども歌舞伎運営補助金	函館子ども歌舞伎後援会	H 1 6	900 1,507	—	—	—	見直したうえで補助を継続	○	平成24年度に見直しをした補助金であるが、補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	廃止	補助対象団体の自立運営により、平成25年度末で補助金を廃止した。
18	教育委員会	団体運営	函館市体育協会運営補助金	特定非営利活動法人函館市体育協会	S 4 4	14,000 14,330	14,000 15,055	14,000 15,756	14,000 15,893	見直したうえで補助を継続		補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	その他	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、会費額の見直しや寄附を募るなど、事業実施に係る自主財源の確保に努めるとともに、支出経費の縮減に努めた。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

1. 補助割合が2分の1を越える補助金

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容			見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	1/2以下への 見直し	見直しの内容	分類	左記の内容
19	教育委員会	団体運営	南茅部大漁太鼓保存会補助金	南茅部大漁太鼓保存会	H17	45 84	45 92	—	—	見直したうえで補助を継続	○	積算基準の設定や類似団体との補助金統合による補助割合の見直しについて検討する。	廃止	補助対象団体の自立運営により、平成26年度末で補助金を廃止した。
20	恵山支所	まつりイベント	恵山つつじまつり開催補助金	恵山つつじまつり実行委員会	S43	2,600 2,900	2,300 2,907	2,300 2,731	2,500 3,172	見直したうえで補助を継続	○	事業内容の見直しや自主財源の確保により、補助割合の見直しを検討する。	見直し	ステージイベントにおいて事業内容を見直したり、参加型イベントを企画したり、協賛依頼を全市に拡大する等により、補助率の減少を図った。 今後においても、事業の見直しを継続し、地域団体が主体となってイベントを実施できるようにする。
21	南茅部支所	まつりイベント	南かやべひろめ舟祭り開催補助金	南かやべひろめ舟祭り実行委員会	S61	4,500 7,440	4,300 8,315	4,300 11,698	4,000 8,300	見直したうえで補助を継続	○	事業内容の見直しや自主財源の確保により、補助割合の見直しを検討する。	見直し	一定の自主財源が確保できたことから、段階的に補助金を削減した。
22	市民部	条例等	街路灯電灯料補助金	街路灯を維持管理する町会等の団体および個人(街路灯維持団体)	S38	82,290 102,862	90,825 113,531	90,110 112,637	93,511 116,889	現行のまま補助を継続		地域防犯等のため当面現行制度を維持するが、LED普及後に負担のあり方等を検討する。	その他	町会等が管理する街路灯のうち、LED灯の普及率はH27年度末で39.68%となる見込みであるが、街路灯維持管理コストの低減のため、今後もさらなる普及が必要なことから、現行どおり補助を継続する。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

1. 補助割合が2分の1を越える補助金

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位：千円)				前回のチェックシートの内容			見直し状況（結果）	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	1/2以下への 見直し	見直しの内容	分類	左記の内容
23	市民部	条例等	街路灯設置費補助金	街路灯を維持管理する町会等の団体および個人(街路灯維持団体)	S 3 7	46,680 57,402	66,973 81,604	96,598 115,637	92,796 109,172	現行のまま補助を継続		地域防犯等のため当面現行制度を維持するが、LED普及後に負担のあり方等を検討する。	その他	町会等が管理する街路灯のうち、LED灯の普及率はH27年度末で39.68%となる見込みであるが、街路灯維持管理コストの低減のため、今後もさらなる普及が必要なことから、現行どおり補助を継続する。
24	子ども未来部	条例等	配偶者等暴力被害者自立支援事業補助金	特定非営利法人ヴィメンズネット函館	H 2 3	2,000 2,587	1,993 2,492	2,000 2,568	2,000 2,653	現行のまま補助を継続		平成23年度に見直しをした補助金であることから、終期までは現行制度とする。	見直し	シェルターやステップハウス利用件数、就労支援講座の受講者数など、本事業のニーズを判断するとともに、安定した事業運営が可能であるか、自主財源の状況を把握し、今後の補助のあり方について検討する。
25	保健福祉部	条例等	高齢者・障がい者地域総合支援事業補助金	特定非営利活動法人日本障害者・高齢者生活支援機構	H 2 5	500 608	—	—	—	現行のまま補助を継続		平成25年度から開始した市民協働モデル事業に対する補助金であることから、終期までは現行制度とする。	廃止	補助金の申請がなかったため、平成26年度末をもって補助金を終了した。
26	保健福祉部	条例等	万代町地区における地域福祉活動活性化事業補助金	函館の地域福祉を考える会	H 2 5	497 584	500 622	500 642	—	現行のまま補助を継続		平成25年度から開始した市民協働モデル事業に対する補助金であることから、終期までは現行制度とする。	廃止	事業開始後3年が経過し、平成27年度末をもって補助金を終了した。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

1. 補助割合が2分の1を越える補助金

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容			見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	1/2以下への 見直し	見直しの内容	分類	左記の内容
27	保健福祉部	条例等	函館バリアフリー ボランティアプロジェクト2013補助金	函館バリアフ リーボランティ アプロジェクト実行委員会	H25	500 898	330 589	—	—	現行のま ま補助を 継続		平成25年度から開始した 市民協働モデル事業に対する 補助金であることから、 終期までは現行制度とする。	廃止	平成27年度は自主財源で事業 を実施するため、平成26年度 末をもって補助金を終了し た。
28	子ども未来部	条例等	中学生のためのDV 防止啓発事業補助金	道南ジェンダー 研究ネットワー ク	H25	486 486	171 171	370 373	—	現行のま ま補助を 継続		平成25年度から開始した 市民協働モデル事業に対する 補助金であることから、 終期までは現行制度とする。	廃止	本事業の実施により、学校関 係者に対し、中学生へのDV 防止予防教育の必要性を認識 させることができた。今後も市 との協働関係は維持しつつ、 団体の自助努力で事業継 続可能であるため、平成27 年度末で補助を廃止すること とした。
29	子ども未来部	条例等	ママのためのリフ レッシュ講座開催 事業補助金	子育て支援グ ループ「マミー ズ・フレンズ」	H25	100 131	100 132	100 131	—	現行のま ま補助を 継続		平成25年度から開始した 市民協働モデル事業に対する 補助金であることから、 終期までは現行制度とする。	廃止	本事業の実施により、育児不 安や孤立感を抱える母親の社 会参画を促し、母子の健全育 成が図られた。今後も市との 協働関係は維持しつつ、団体 の自助努力で事業継続可能で あるため、平成27年度末で 補助を廃止することとした。
30	教育委員会	団体運営	公益財団法人函館 市文化・スポーツ 振興財団補助金 (市民スケート場 運営事業補助金)	公益財団法人函 館市文化・ス ポーツ振興財団	H2	52,668 59,684	63,818 71,417	61,527 68,874	62,988 70,881	現行のま ま補助を 継続		冬季のスポーツ振興に大き く寄与していることから、 終期までは現行制度とする が、施設の老朽化に伴う設 備更新に多額の経費を要す るため、今後のあり方につ いて検討を進める。	その他	冬季のスポーツ振興に大き く寄与していることから、 終期までは現行制度とする が、施設の老朽化およびフロン 冷媒の全廃により現施設が使 用不能となるため、あり方につ いて検討を行っている。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

1. 補助割合が2分の1を越える補助金

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容			見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	1/2以下への 見直し	見直しの内容	分類	左記の内容
31	保健福祉部 子ども未来部	国道等	社会福祉施設休業等代替職員費補助金	社会福祉施設等	H17	2,911 3,928	3,656 4,509	4,867 6,945	4,111 4,111	その他		本市の給与改定や道の動向などを見据え、補助基準日額を適時見直しする。	その他	現行のまま補助を継続した。
32	保健福祉部	国道等	結核予防費補助金	私立学校8校、社会福祉施設10施設	H17	415 622	438 657	433 650	718 1,077	その他		国の制度の改正に合わせ見直しを検討する。	その他	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第60条において2/3補助と定められており、変更の予定はない。
33	農林水産部	国道等	経営所得安定対策直接支払推進事業費補助金	函館市農業再生協議会	H25	2,115 2,115	2,137 2,137	2,166 2,166	2,110 2,110	その他		平成25年度から交付を開始した補助金(北海道から移管)であり、補助金額の全額が国庫補助金でまかなわれているため、国の制度の改正に合わせ見直しを検討する。	その他	国が実施する経営所得安定対策直接支払推進事業に係る全額国庫補助の補助金であり、国の実施要綱において補助率等に係る改正はなかったため、現行どおりとした。
34	都市建設部	国道等	木造住宅耐震化支援事業補助金	建築物所有者	H22				—	300 450	その他	園において、平成27年度までに耐震化率90%を目指しているため現行制度とするが、今後、園の制度の改正があれば、それに合わせ見直しを検討する必要がある。	その他	道で耐震改修促進計画の見直しを行い、本市計画についても整合を図る必要があるため見直し作業中である。(参考:国交省国土強靭化アクションプランにおいてH32年度の耐震化率目標が95%とされている。)

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

1. 補助割合が2分の1を越える補助金

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容			見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	1/2以下へ の見直し	見直しの内容	分類	左記の内容
35	都市建設部	国道等	アスベスト対策支援事業補助金	建築物所有者	H22	420 420	0 0	0 0	1,000 1,000	その他		市民の健康被害防止のため現行制度とするが、今後、国の制度の改正があれば、それに合わせ見直しを検討する必要がある。	その他	市民の健康被害防止のため現行制度とするが、国アスベスト対策による補助事業（国負担10/10）であるため今後、国の制度の改正があれば、それに合わせ見直しを検討する必要がある。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
1	南茅部支所	団体運営	函館市南茅部女性 団体連絡協議会補 助金	函館市南茅部女性 団体連絡協議会	H 17	111 359	110 364	—	—	廃止	平成26年度までの2ヶ年 で、自主運営に向けた調整を 図っていく。	廃止	平成26年度で補助を終了 し、平成27年度より自主運 営とした。
2	保健福祉部	国道等	老人クラブ運営費 補助金	単位老人クラブ (117クラブ)	S 38	12,222 48,130	11,292 45,253	10,860 42,752	10,956 42,601	見直した うえで補 助を継続	今後も安定的な運営を図ると ともに、補助対象経費の見直 しを検討する。	その他	老人クラブの地域に根ざした 活動は、生きがいづくりや介 護予防にも貢献しており、安 定的な運営を図るため補助を 継続した。
3	環境部	条例等 (要綱等)	合併処理浄化槽設 置費補助金	合併処理浄化槽設 置者	H 8	16,568	15,916	17,308	20,818	見直した うえで補 助を継続	補助限度額について、国の動 向や道内主要都市の状況等を 勘案し、見直しを検討する。	見直し	平成28年度より補助限度額を 現行の国の基準額を基に見直 した。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
4	経済部	条例等 (要綱等)	小規模事業経営近代化促進指導事業補助金 [函館東商工会]	函館東商工会	H18	16,000 32,473	14,000 26,795	14,000 64,693	12,000 26,750	見直したうえで補助を継続	要綱で、合併により成立した商工会に対する特例措置が規定されており、合併後7年が経過した現在も、基準額を超える補助金額を支出しているため、平成26年度は2,000千円減額し、以後も段階的に基準額まで引き下げる。	見直し	要綱で、合併により成立した商工会に対する特例措置が規定されており、2年に1度2,000千円ずつ段階的に減額し、平成28年度も2,000千円減額した。商工会は支所統合や人件費の削減など経費節減に努めているが、厳しい状況であるため、今後、補助金の額の下限について協議する必要がある。
5	土木部	条例等 (要綱等)	一般財団法人函館市住宅都市施設公社緑化推進事業補助金	一般財団法人函館市住宅都市施設公社	H3	7,186	7,186	7,115	7,115	見直したうえで補助を継続	平成24年度に見直しをした補助金であるが、補助対象経費の見直しを図り、補助金の縮減に努める。	見直し	平成26年度の補助対象経費の見直しを図り、対前年度より71千円の補助金を縮減した。
6	都市建設部	条例等 (要綱等)	一般財団法人函館市住宅都市施設公社住生活環境向上事業補助金	一般財団法人函館市住宅都市施設公社	H24	3,600 7,372	3,600 7,301	3,564 7,835	3,564 8,205	見直したうえで補助を継続	平成24年度に見直しをした補助金であるが、補助対象経費の見直しを図り、補助金の縮減に努める。	その他	平成24年度に見直しをした補助金であるが、今後も補助対象経費の見直しを図り、補助金の縮減に努める。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
7	企画部	団体運営 (奨励的)	ロシア極東連邦総合大学函館校支援補助金	学校法人函館国際学園	H10	30,000 55,171	30,000 62,356	29,075 60,367	30,000 63,293	見直したうえで補助を継続	学生数の低迷が続いた場合、法人が学校経営の継続について判断するものであり、当面は、法人において経営の改善、自主財源の確保に努めていくなか、補助を継続していくこととなるが、市としては、生徒数の状況などを見極めながら、対応を判断する。	その他	補助割合については、交付規則に基づく対象経費の1/2以下を厳守するなか、現行どおりとした。
8	保健福祉部	団体運営 (奨励的)	休日救急歯科診療補助金	一般社団法人函館歯科医師会	S58	1,584 10,325	1,584 9,914	1,584 11,058	1,584 11,412	見直したうえで補助を継続	補助金交付先事業の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	その他	補助金交付先事業の収支状況を再確認した結果、事業内容に大きな変更がなく、依然必要性の高い事業のため現行制度を継続した。
9	教育委員会	団体運営 (奨励的)	七重浜海水浴場開設事業補助金	七重浜さざなみ会	S53	500 1,940	500 1,708	500 1,807	500 1,789	見直したうえで補助を継続	終期までに市の海水浴場のあり方をまとめる。	その他	湯川海水浴場を廃止し、市の海水浴場のあり方をまとめた。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
10	子ども未来部	団体運営 (奨励的)	函館豆記者交歓会 運営事業補助金	函館豆記者交歓会	S 5 3	300 1,177	300 3,815	300 3,304	300 4,021	見直した うえで補 助を継続	補助金交付先団体の収支状況 を再確認し、補助金の縮減に 努めるとともに、積算基準額 を明確にする。	見直し	収支状況を確認した結果、補 助金の縮減をした場合、事業 実施が困難となると判断した ため、28年度は現行の補助金 額を維持することとした。
11	保健福祉部	団体運営	函館市連合遺族会 補助金	函館市連合遺族会	S 2 7	605 1,530	575 1,412	575 1,356	575 1,339	見直した うえで補 助を継続	事務経費等の節減に努め、補 助金の縮減を行う。	その他	主たる収入が会員からの会費 であるが、会員の高齢化に伴 い、会員数が減少しているう え、大半が年金生活者となっ ていることから、会費を増額 することができず、行政から の補助金に頼らざるを得ない 状況であるため補助を継続し た。
12	保健福祉部	団体運営	函館地区保護司会 補助金	函館地区保護司会	S 3 0	861 7,743	853 8,076	853 8,135	853 7,397	見直した うえで補 助を継続	各経費の節減を図り、会員数 の増員に努め、補助金の縮減 を行う。	見直し	更生保護サポートセンター の開設など、更生保護活動の 充実強化を図りながら、会費 の増額(会員増)と経費節減 に努めている。補助金の縮減 については、財源が限られて いる公共性の高い事業である ことを考慮したなかで縮減を行 った。
13	保健福祉部	団体運営	函館創生会補助金	更正保護法人函館 創生会	S 1 9	97 42,148	96 45,442	95 55,277	95 52,928	見直した うえで補 助を継続	事務経費等の節減に努め、補 助金の縮減を行う。	見直し	更生の基礎となる社会復帰 の支援による社会秩序の維 持、本市の社会福祉の増進に 寄与している事業であること を考慮しつつ、補助金の縮減 を行った。なお事業費の増額 は、出所者受け入れ数の増加 に伴うものである。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
14	保健福祉部	団体運営	函館市民生児童委員連合会補助金	函館市民生児童委員連合会	S 4 8	4,612 17,197	4,612 17,619	4,612 17,177	4,612 17,212	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	その他	団体の収支状況を再確認した結果、補助金額が適正であると認められたが、定額の補助金であるため積算基準は定められていない。今後、全局的な整理の中で基準の設定について検討していく。
15	保健福祉部	団体運営	函館市身体障害者福祉団体連合会補助金	一般社団法人函館市身体障害者福祉団体連合会	S 2 9	3,000 12,430	3,000 10,704	3,000 10,230	3,000 10,265	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	その他	団体の収支状況を再確認した結果、補助金額が適正であると認められ、活動内容が、身体障害者の社会参加や自立の促進を図る目的に合致していることから、現行の補助を継続した。
16	保健福祉部	団体運営	函館聴覚障害者図書館補助金	特定非営利活動法人函館聴覚障害者図書館	S 4 2	352 4,653	352 6,147	352 3,836	352 3,078	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	その他	団体の収支状況を再確認した結果、補助金額が適正であると認められ、視覚障がい者の生活、教養、文化の向上が図られ、視覚障がい者のための福祉の増進に寄与していると認められたため、現行の補助を継続した。
17	保健福祉部	団体運営	道南銀鈴会運営補助金	道南銀鈴会	S 5 9	50 770	50 760	50 760	50 760	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	その他	団体の収支状況を再確認した結果、補助金額が適正であると認められ、活動内容が、発声機能を喪失した障がい者の社会復帰の推進を図る目的に合致していることを確認したことから、現行の補助を継続した。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
18	保健福祉部	団体運営	函館手をつなぐ親の会運営費補助金	特定非営利活動法人函館手をつなぐ親の会	S 4 2	494 1,141	494 1,184	440 1,270	440 1,276	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	その他	団体の収支状況を再確認した結果、補助金額が適正であると認められ、知的障がい児・者および家族を守り、その福祉の増進を図り、社会を明るくすることに寄与していると認められたため、継続とした。
19	保健福祉部	団体運営	北海道自閉症協会道南分会運営費補助金	北海道自閉症協会道南分会	S 4 7	100 1,708	—	—	—	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	廃止	平成26年度から申請なし
20	保健福祉部	団体運営	函館市知的障害者職親会運営費補助金	函館市知的障害者職親会	H元	100 488	100 504	—	—	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	廃止	平成27年度から申請なし
21	保健福祉部	団体運営	函館おもちゃライブブラーー設備費補助金	函館おもちゃライブブラーー運営委員会	S 6 0	100 776	100 800	100 717	100 734	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	その他	団体の収支状況を再確認した結果、補助金額が適正であると認められ、おもちゃ遊びを通じて心身に障がいのある子どもの機能回復と発達が促進されるとともに、健常児との交流により、児童の健全な成長が促され、また、子育て支援に寄与していると認められたため、継続とした。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
22	保健福祉部	団体運営	函館精神障害者家族会愛泉会補助金	函館精神障害者家族会愛泉会	H元	50 300	50 297	50 244	50 222	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	その他	団体の収支状況を再確認した結果、補助金額が適正であると認められ、補助の廃止・減額等をした場合、団体が運営を継続することは難しくなるため、継続とした。
23	保健福祉部	団体運営	函館地方精神保健協会補助金	函館地方精神保健協会	S 4 2	50 542	50 517	50 516	50 516	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	その他	団体の収支状況を再確認した結果、補助金額が適正であると認められ、補助の廃止・減額等をした場合、団体が運営を継続することは難しくなるため、継続とした。
24	保健福祉部	団体運営	函館市医師会看護専門学校運営費補助金	公益社団法人函館市医師会	S 4 9	4,500 212,647	4,500 233,623	4,500 233,669	4,500 235,101	見直したうえで補助を継続	平成24年度に見直しをした補助金であるが、補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	その他	団体の収支状況を再確認した結果、補助金額が適正であると認められたが、今後、削減を行っていくには積算根拠となる補助要綱が必要となるため、その制定に向けた検討を行うこととした。
25	保健福祉部	団体運営	函館認知症の人を支える会運営費補助金	函館認知症の人を支える会	H 5	100 944	100 848	100 1,229	100 813	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	その他	団体の収支状況を再確認した結果、補助金額が適正であると認められたが、具体的な積算基準が定められていないため、全庁的な整理の中で、補助要綱の作成および積算基準の設定について検討することとした。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
26	保健福祉部	団体運営	北海道難病連補助金	財團法人北海道難病連	S 5 3	300 65,770	280 60,424	280 132,902	280 56,672	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	見直し	平成26年度に人口規模の縮小のため28万円に見直した。
27	保健福祉部	団体運営	函館食品衛生協会運営費補助金	函館食品衛生協会	H 1 2	300 9,534	300 8,786	300 10,691	300 10,907	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	その他	積算内訳が不明なため、毎年度、財務状況を精査し、経費の縮減に努めている。他都市でも積算基準が決められていないので、今後、他の補助金を参考に検討、協議する。
28	環境部	団体運営	函館の街をきれいにする市民運動協議会補助金	函館の街をきれいにする市民運動協議会	H 1 8	350 2,227	340 2,177	330 2,323	300 1,863	見直したうえで補助を継続	これまで見直しをしてきた補助金であるが、補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	見直し	これまで毎年度見直しをしてきたが、平成28年度においても金額を見直した。 330千円→300千円
29	農林水産部	団体運営	函館救難所運営費補助金	北海道海難防止・水難救済センター 函館救難所	S 4 4	0 120	-	-	-	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	廃止	水難救助法に基づく行政が担うべき業務に対し、要綱に基づき交付する交付金として整理し、平成26年度末で運営費補助金を廃止した。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
30	農林水産部	団体運営	戸井救難所運営費 補助金	北海道海難防止・ 水難救済センター 戸井救難所	H17	240 956	240 675	—	—	見直した うえで補 助を継続	補助金交付先団体の収支状況 を再確認し、補助金の縮減に 努めるとともに、積算基準額 を明確にする。	廃止	水難救護法に基づく行政が担 うべき業務に対し、要綱に基 づき交付する交付金として整 理し、平成26年度末で運営 費補助金を廃止した。
31	農林水産部	団体運営	えさん救難所運営 費補助金	北海道海難防止・ 水難救済センター えさん救難所	H17	90 267	90 374	—	—	見直した うえで補 助を継続	補助金交付先団体の収支状況 を再確認し、補助金の縮減に 努めるとともに、積算基準額 を明確にする。	廃止	水難救護法に基づく行政が担 うべき業務に対し、要綱に基 づき交付する交付金として整 理し、平成26年度末で運営 費補助金を廃止した。
32	農林水産部	団体運営	般法華救難所運営 費補助金	北海道海難防止・ 水難救済センター 般法華救難所	H17	0 178	40 877	—	—	見直した うえで補 助を継続	補助金交付先団体の収支状況 を再確認し、補助金の縮減に 努めるとともに、積算基準額 を明確にする。	廃止	水難救護法に基づく行政が担 うべき業務に対し、要綱に基 づき交付する交付金として整 理し、平成26年度末で運営 費補助金を廃止した。
33	農林水産部	団体運営	南かやべ救難所運 営費補助金	北海道海難防止・ 水難救済センター 南かやべ救難所	H17	120 581	120 762	—	—	見直した うえで補 助を継続	補助金交付先団体の収支状況 を再確認し、補助金の縮減に 努めるとともに、積算基準額 を明確にする。	廃止	水難救護法に基づく行政が担 うべき業務に対し、要綱に基 づき交付する交付金として整 理し、平成26年度末で運営 費補助金を廃止した。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
34	教育委員会	団体運営	函館市教育研究活動推進事業補助金	函館市教育研究会連絡協議会	S 4 7	700 4,020	700 3,831	700 3,038	500 2,479	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	見直し	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減を図った。 今後も引き続き団体と協議を行う。
35	教育委員会	団体運営	函館市幼児教育研究会補助金	函館市幼児教育研究会	S 3 2	72 196	72 191	72 188	72 188	見直したうえで補助を継続	平成25年度に見直しをした補助金であるが、補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	見直し	事業内容や収支状況等を精査し平成25年度に見直した。 H24: 80千円 → H25: 72千円
36	教育委員会	団体運営	函館盲ろう教育後援会補助金	函館盲聾教育後援会	S 4 5	50 975	—	—	—	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	廃止	補助対象団体の自立運営により、平成25年度末で補助金を廃止した。
37	教育委員会	団体運営	函館市高等学校定時制教育振興会補助金	函館市高等学校定時制教育振興会	S 2 9	50 689	50 807	—	—	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	廃止	補助対象団体の自立運営により、平成26年度末で補助金を廃止した。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
38	教育委員会	団体運営	函館市PTA連合会補助金	函館市PTA連合会	S 37	1,485 4,304	1,337 5,078	1,337 5,059	1,204 4,930	見直したうえで補助を継続	平成24年度に見直しをした補助金であるが、補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	見直し	事業内容や収支状況等を精査し平成26年度および平成28年度に見直した。 H25 : 1,485千円 → H26 : 1,337千円 H27 : 1,337千円 → H28 : 1,204千円
39	教育委員会	団体運営	函館市文化団体協議会補助金	函館市文化団体協議会	S 39	2,000 7,787	2,000 11,931	1,800 7,092	1,800 7,094	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	見直し	事業内容や収支状況等を精査し、平成27年度に見直した。 H26 : 2,000千円 → H27 : 1,800千円
40	子ども未来部	団体運営	函館こども劇場運営事業補助金	函館こども劇場	S 48	100 4,747	80 4,576	80 4,287	-	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助廃止も見据えた見直しを進める。	廃止	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、平成27年度をもって補助を廃止することとした。
41	教育委員会	団体運営	函館ユネスコ協会補助金	函館ユネスコ協会	S 54	45 469	41 382	41 279	40 441	見直したうえで補助を継続	平成24年度に見直しをした補助金であるが、補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	見直し	事業内容や収支状況等を精査し、平成28年度に見直した。 H25 : 45千円 → H26 : 41千円 H27 : 41千円 → H28 : 40千円

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
42	教育委員会	団体運営	「はこだてカルチャーナイト2015」開催補助金	はこだてカルチャーナイト実行委員会	H20	270 1,738	243 1,680	243 2,025	243 2,000	見直したうえで補助を継続	平成24年度に見直しをした補助金であるが、補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	見直し	事業内容や収支状況等を精査し、平成27年度に見直した。 H25: 270千円 → H26: 243千円
43	教育委員会	団体運営	郷土芸能函館巴太鼓振興会補助金	郷土芸能函館巴太鼓振興会	H2	450 1,592	405 2,410	405 2,057	405 1,916	見直したうえで補助を継続	平成24年度に見直しをした補助金であるが、補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	見直し	事業内容や収支状況等を精査し、平成26年度に見直した。 H25: 450千円 → H26: 405千円
44	教育委員会	団体運営	函館太洋倶楽部運営補助金	函館太洋倶楽部	S29	1,000 3,229	900 2,091	900 2,257	900 4,827	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	見直し	事業内容や収支状況等を精査し、平成26年度に見直した。 H25: 1,000千円 → H26: 900千円
45	教育委員会	団体運営	函館市スポーツ少年団運営補助金	函館市スポーツ少年団	S43	300 2,694	300 2,592	300 2,695	300 2,490	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	その他	市補助金以外の他の助成金を活用するなど、自主財源の確保に努めているが、依然として補助金交付先団体の運営状況は厳しいことから、同額での補助を継続している。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
46	教育委員会	団体運営	木直大正神楽保存会補助金	木直大正神楽保存会	S 4 0	50 100	50 103	—	—	見直したうえで補助を継続	積算基準の設定や類似団体の補助金統合について検討する。	廃止	補助対象団体の自立運営により、平成27年度で補助金を廃止予定
47	教育委員会	団体運営	安浦駒踊り保存会補助金	安浦駒踊り保存会	S 3 8	55 127	55 110	55 120	55 120	見直したうえで補助を継続	積算基準の設定や類似団体の補助金統合について検討する。	その他	旧南茅部町時代から無形民俗文化財に指定されており、地域を代表する郷土芸能を伝承するために補助する必要があることから、補助を継続している。
48	教育委員会	団体運営	大船南部神楽保存会補助金	大船南部神楽保存会	H 2	50 132	50 116	50 131	50 127	見直したうえで補助を継続	積算基準の設定や類似団体の補助金統合について検討する。	その他	地域に伝承されていた神楽を復活させようと精力的に活動しており、その公開や伝承活動等を支援する必要があることから、補助を継続している。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況（結果）	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
49	港湾空港部	団体運営	函館港湾振興会補助金	函館港湾振興会	S 4 1	140 1,277	140 1,156	140 1,096	140 1,120	見直した うえで補 助を継続	補助金交付先団体の収支状況 を再確認し、補助金の縮減に 努めるとともに、積算基準額 を明確にする。	その他	団体の収支状況を再確認するほ か、経費等を必要最小限にとどめ 節減に努めるとともに、事業の効 果が最大限発揮できるよう内容の 充実に取り組んできたところであ る。 積算基準額については、経費の 性質ごとに、会費などの自主財源 で賄うべき経費か、補助金で賄う べき経費かなどの視点で、積算基 準の明確化の可能性の検討を重ね たが、部所管の他の運営補助金と の整合性や統一的な基準の必要性 など、引き続き検討を進めている ところである。
50	港湾空港部	団体運営	海の日を祝う会補助金	海の日を祝う会	H 8	100 1,107	100 1,001	100 1,089	100 1,050	見直した うえで補 助を継続	補助金交付先団体の収支状況 を再確認し、補助金の縮減に 努めるとともに、積算基準額 を明確にする。	その他	団体の収支状況を再確認するほ か、経費等を必要最小限にとどめ 節減に努めるとともに、事業の効 果が最大限発揮できるよう内容の 充実に取り組んできたところであ る。 積算基準額については、経費の 性質ごとに、会費などの自主財源 で賄うべき経費か、補助金で賄う べき経費かなどの視点で、積算基 準の明確化の可能性の検討を重ね たが、部所管の他の運営補助金と の整合性や統一的な基準の必要性 のほか、今後の補助金のあり方に ついて、引き続き検討を進めてい るところである。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
51	港湾空港部	団体運営	函館港湾福利厚生会館運営費補助金	函館港湾福利厚生会館	S 4 7	200 9,091	200 9,224	200 9,162	180 8,993	見直したうえで補助を継続	平成24年度に見直しをした補助金であるが、補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	見直し	補助金額について団体と協議を行い、事業内容や収支状況を確認のうえ、平成28年度予算から見直しを行い減額することとした。 (H27:200千円→H28:180千円)
52	競輪事業部	団体運営	一般社団法人日本競輪選手会北海道支部自転車競技普及・振興事業補助金（旧：日本競輪選手会北海道支部補助金）	一般社団法人日本競輪選手会北海道支部	S 2 8	1,350 7,906	1,000 6,980	1,000 7,509	1,000 6,528	見直したうえで補助を継続	補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	見直し	・補助金額の削減：H25 1,350千円→H26 1,000千円 ※交付要綱制定前に補助対象経費を見直し削減した ・H28.4.1に補助金交付要綱を制定・施行し、運営費補助から事業費補助への見直しを行った

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
53	観光部	まつり イベント	箱館五稜郭祭開催 補助金	箱館五稜郭祭協賛 会	S 4 7	2,700 8,408	2,700 8,425	2,700 8,548	2,700 8,460	見直した うえで補 助を継続	平成25年度に見直しをした 補助金であるが、まつりの収 支状況を再確認し、補助金の 縮減に努めるとともに、積算 基準額を明確にする。	その他	当該イベントにおいては、市と 商工会議所、観光コンベンション 協会、市内企業、商店街振興組合 などで構成する協賛会により実施 されているものであり、官民を挙 げて、本市の主要観光地である五 稜郭をPRしております。本市観光振 興に寄与しているものである。 本市としても、春の観光振興策 の大きな柱として政策的な意図を もって補助金の支出をしているも のであり、今後も団体のより一層 の自助努力を促したうえで、一定 程度の補助は今後も必要である。
54	観光部	まつり イベント	湯の川温泉花火大 会開催補助金	湯の川温泉花火大 会実行委員会	S 4 8	1,500 11,564	1,500 9,376	500 8,084	1,500 10,300	見直した うえで補 助を継続	イベントの収支状況を再確認 し、補助金の縮減に努めると ともに、積算基準額を明確に する。	その他	当該イベントにおいては、本市 の主要宿泊地である湯の川温泉街 のホテル、地域の町会や商店街な どと市からなる実行委員会が湯の 川温泉のPRと観光客誘致のため に実施しているものであり、旅館 数が減少気味である湯の川温泉街 の脳わいの創出と地域活性化の一 助となっております。市としても観光 の振興策として補助金の支出をし ているものである。 自主財源である協賛金について は、景気等により変動するもので あり、事業の継続的実施のためには 市からの一定の補助を必要であ り、今後も、団体のより一層の自 助努力を促したうえで、必要に応 じて補助金額の検討は必要であ る。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
55	観光部	まつり イベント	はこだて冬のイベ ント開催補助金	はこだて冬フェス ティバル実行委員 会	S 6 0	5,900 13,700	20,715 31,709	6,500 14,706	6,500 15,158	見直した うえで補 助を継続	平成25年度に見直しをした 補助金であるが、イベントの 収支状況を再確認し、補助対 象経費の見直しを図り、積算 基準額を明確にする。	その他	当該イベントにおいては、市と 観光コンベンション協会、商工会 議所などで構成する実行委員会に より実施されているものであり、 官民を挙げて、本市観光振興に取 り組むもので、本市としても、冬 季観光の振興策の大きな柱として 補助金の支出をしているものであ る。 事業内容についても、平成26 年度の函館駅前のイルミネーショ ンや平成27年度の新幹線開業に 向けた期間延長など、その時々の 世情や状況を反映させているもの である。今後も、団体のより一層 の自助努力を促したうえで、一定 程度の補助は必要である。
56	観光部	まつり イベント	はこだてクリスマ スファンタジー開 催補助金	はこだてクリスマ スファンタジー実 行委員会	H 1 0	15,800 50,627	15,800 48,870	15,800 49,081	15,800 49,506	見直した うえで補 助を継続	平成25年度に見直しをした 補助金であるが、イベントの 収支状況を再確認し、補助金 の縮減に努めるとともに、積 算基準額を明確にする。	その他	当該イベントにおいては、市と 観光コンベンション協会、商工会 議所などで構成する実行委員会に より実施されているものであり、 官民を挙げて、本市観光振興に取 り組むもので、本市としても、冬 季観光の振興策の大きな柱として 補助金の支出をしているものであ る。 実行委員会においても、市内事 業者からの協賛金の確保および平 成27年度からスープバーチケッ トの一部値上げなど財源確保に努 めていることや、旅行代理店のツ ア企画に組み込まれているなど の事業効果を鑑みると補助金額は 現段階では妥当であると考える が、今後も、団体のより一層の自 助努力を促したうえで、必要に応 じて補助金額の検討は必要であ る。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
57	観光部	まつり イベント	函館港イルミナシ オン映画祭開催補 助金	函館港イルミナシ オン映画祭実行委 員会	H1.2	2,000 6,743	2,000 6,947	2,000 6,410	2,000 7,123	見直した うえで補 助を継続	平成24年度に見直しをした 補助金であるが、イベントの 収支状況を再確認し、補助金 の縮減に努めるとともに、積 算基準額を明確にする。	その他	事業の経費を精査した結果、 協賛金や広告収入など財源確 保に努めていることや、事業 効果を鑑み、補助金額は現段 階においては妥当であると考 える。
58	観光部	まつり イベント	五稜星の夢開催補 助金	五稜星の夢実行委 員会	H1.2	1,000 5,456	1,000 5,914	1,000 6,211	1,000 5,500	見直した うえで補 助を継続	イベントの収支状況を再確認 し、補助金の縮減に努めると ともに、積算基準額を明確に する。	その他	当該イベントにおいては、市民 有志からなる実行委員会が特別史 跡五稜郭跡の堀を電飾するという 函館ならではのものであり、メ ディアにも取り上げられるなど、 本市の冬季観光振興に寄与してい るもので、市としても冬季観光の 振興策として補助金の支出をして いるものである。 市民有志からなる実行委員会の ため、財源基盤が弱く、事業規模 も他のイベント比較しても小さい ものではあるが、募金と広告収入 などによる財源確保の取り組み や、メディア等での取り上げられ ている効果を鑑みると補助金額は 現段階では妥当であると考える が、今後も、団体のより一層の自 助努力を促したうえで、必要に応 じて補助金額の検討は必要であ る。
59	恵山支所	まつり イベント	恵山ごっこまつり 開催補助金	恵山ごっこまつり 実行委員会	H.2	300 796	300 977	300 688	300 832	見直した うえで補 助を継続	まつりの収支状況を再確認 し、補助金の縮減に努めると ともに、積算基準額を明確に する。	見直し	単価が上昇する中で、PR品の數 量調整や販売価格を工夫するこ とで事業費収入を増加させ、補助率 の低減に努めたが、今後一定期間 の事業実績や効果を見て、事業の 内容・仕り方を再度検討すること が必要である。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
60	教育委員会	まつり イベント	北海道立函館美術館特別展開催補助金	北海道立函館美術館特別展実行委員会	S 6.1	1,500 20,702	1,350 21,323	1,350 14,524	1,350 27,153	見直したうえで補助を継続	イベントの収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。	見直し	事業内容や収支状況等を精査し、平成26年度に見直した。 H25 : 1,500千円 → H26 : 1,350千円
61	教育委員会	まつり イベント	市民創作「函館野外劇」開催補助金	特定非営利活動法人市民創作「函館野外劇」の会	S 6.3	8,000 34,078	6,816 19,988	—	—	見直したうえで補助を継続	平成25年度に見直しをした補助金であるが、補助団体に対しては、市民創作である「函館野外劇」本来の意義を踏まえたうえで、経費削減や収入増への対策を要請しており、引き続き補助金の縮減に向けた見直しを図っていく。	廃止	補助対象団体の自立運営により、平成26年度末で補助金を廃止した。 (五稜郭の郭内工事に伴い、平成27年度および平成28年度は要望なし)
62	教育委員会	まつり イベント	函館ハーフマラソン大会開催補助金	函館ハーフマラソン大会実行委員会	H 3	17,000 41,411	17,000 42,936	—	—	見直したうえで補助を継続	協賛金の増額に向けた取り組みを検討するとともに、さらなる経常経費の見直しを進め、補助金の縮減に努める。	廃止	平成27年度から負担金とし、補助金については、平成26年度末で廃止した。
63	企画部	条例等	函館市国際交流事業活動補助金	国際友好・親善団体その他国際交流を行う団体および国際交流支援団体	H 3	1,700 9,755	2,870 17,269	1,050 3,830	2,190 11,260	現行のまま補助を継続	平成25年度に見直しをした補助金であることから、終期末では現行制度を継続する。	その他	平成25年度に見直しをし、国際交流団体等の事業活動に対する補助しているものであるが、国際交流の促進に一定の効果をあげており、現行のまま補助を継続する。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
64	保健福祉部	条例等	心身障害者扶養共済制度加入者助成費	個人	S 4 8	2,766 2,766	2,395 2,395	2,097 2,097	1,949 1,949	現行のまま補助を継続	平成25年度に見直しをした補助金であることから、終期末までは現行制度を継続する。	その他	平成25年度に見直しをしたため、現行制度を継続とした。
65	農林水産部	条例等	漁業近代化資金利息補給費	函館市漁業協同組合ほか5団体	S 4 5	11,969 1,218,190	11,414 1,174,269	10,113 1,056,116	13,033 1,362,964	現行のまま補助を継続	漁業経営安定のため、終期末までは現行制度を継続する。	その他	人口減少に伴い漁業者も減少する中で、漁業経営に必要な施設の近代化はますます重要性を増しているため、現行どおりとした。
66	土木部	条例等	保存樹木等管理費補助金	保存樹木等所有者	S 4 9	357	349	347	408	現行のまま補助を継続	保存樹木等の維持のため、終期末までは現行制度を継続するが、他都市の状況を検証するとともに所有者への意向調査も実施し、制度のあり方について検討する。	その他	他都市の状況調査や、保存樹木の所有者に対する意向調査の実施により、制度のあり方について検討を行ったところ、保存樹木制度の施策目的である所有者等の自主性を確保しながら、市が側面から支援を行うことにより、市民協働による管理の実現が達成できていることを確認したことから、現行どおりとした。
67	都市建設部	条例等	指定建造物等維持管理費補助金	指定建造物等所有者	H 5	6,020 6,020	6,090 6,090	6,020 6,020	-	現行のまま補助を継続	歴史的町並み景観を保全し維持していくため、終期末までは現行制度を継続する。	廃止	本補助制度を廃止し、新たに小規模外観修繕・内部修繕に係る補助制度を新設。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
68	保健福祉部	条例等 (要綱等)	函館市福祉のまち づくり施設整備費 補助金	各個人等	H 1 5	650 1,386	1,540 3,919	1,120 2,694	1,000 2,000	現行のま ま補助を 継続	バリアフリー整備のため、終 期までは現行制度を継続す る。	その他	平成25年度から補助対象を 拡大する制度改正を行い、市 内公共的施設の一層のバリア フリー化を促進に努めた。
69	保健福祉部	条例等 (要綱等)	二次輪番病院運営 費補助金	二次輪番病院(1 1病院)	S 5 1	49,631 260,847	49,403 291,563	49,815 316,273	50,264 317,966	現行のま ま補助を 継続	平成25年度に見直しをした 補助金であることから、終期 までは現行制度を継続する。	その他	平成25年度に見直しをした ため、現行のまま補助を継続 した。
70	経済部	条例等 (要綱等)	労働福祉事業補助 金	連合北海道函館地 区連合会、全労 連・函館地方労働 組合議会議	H 5	4,345 10,285	4,345 10,530	4,345 9,578	4,345 9,900	現行のま ま補助を 継続	平成24年度に見直しをした 補助金であることから、終期 までは現行制度を継続する。	その他	必要に応じて弁護士による法 律相談を行う等、多岐にわた る相談に対応し、一定の効果 をあげているため、現行のま ま補助を継続する。
71	経済部	条例等 (要綱等)	中小企業認定職業 訓練補助金	職業訓練法人函館 総合建設訓練協会	S 4 0	168 7,263	240 7,465	232 7,401	224 7,424	現行のま ま補助を 継続	中小企業の人材育成のため、 終期までは現行制度を継続す る。	その他	中小企業の人材育成のため、 現行制度を継続する。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
72	農林水産部	条例等 (要綱等)	綠肥導入促進事業 費補助金	函館市亀田農業協同組合、新函館農業協同組合	H12.1	2,640 5,281	2,242 4,484	2,836 5,673	2,781 5,561	現行のまま補助を継続	本市農業の生産基盤維持のため、終期までは現行制度を継続する。	その他	綠肥作物の栽培は、本市農業の主要作物であるジャガイモの病害虫(センチュウ)の低減対策として必要不可欠なものであるため、現行どおりとした。
73	経済部	条例等 (要綱等)	小規模事業経営近代化促進指導事業 補助金 [函館商工会議所]	函館商工会議所 (中小企業相談所)	S3.5	14,000 13,092	14,000 9,676	14,000 9,496	14,000 9,840	現行のまま補助を継続	小規模事業者の経営基盤の充実のため、終期までは現行制度を継続する。	その他	当該補助金は、市内小規模事業者の経営基盤の充実を図るための事業に要する経費に対する補助であり、地域経済の活性化に大きく寄与するものであることから、現行制度を継続する。
74	経済部	条例等 (要綱等)	小規模事業経営近代化促進指導事業 補助金 [函館市亀田商工会]	函館市亀田商工会	S3.5	5,000 34,314	5,000 34,559	5,000 33,086	5,000 29,570	現行のまま補助を継続	小規模事業者の経営基盤の充実のため、終期までは現行制度を継続する。	その他	当該補助金は、市内小規模事業者の経営基盤の充実を図るための事業に要する経費に対する補助であり、地域経済の活性化に大きく寄与するものであることから、現行制度を継続する。
75	都市建設部	条例等 (要綱等)	函館市高齢者向け 優良賃貸住宅家賃 対策補助金	認定事業者	H1.6	6,688 46,539	6,253 45,792	6,626 45,792	7,884 45,792	現行のまま補助を継続	補助期間が平成35年度までであり、補助年限到達までは現行制度を継続する。	その他	補助期間が平成35年度までであり、補助年限到達までは現行制度を継続する。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
76	子ども未来部	条例等 (要綱等)	函館大学図書館図書整備費補助金	学校法人野又学園 (函館大学)	S 4 3	1,800 3,601	1,800 3,601	1,800 3,601	1,800 3,060	現行のま ま補助を 継続	平成25年度に見直しをした 補助金であることから、終期 までは現行制度を継続する。	見直し	H27に補助金の削減に係る基 準を明確化した。当該基準を 踏まえ、交付先団体の事業費 を精査し、現行のまま補助を 継続することとした。
77	教育委員会	条例等 (要綱等)	国指定文化財管理 費補助金	宗教法人函館ハリストス正教会他3 団体	H 3	176 360	189 382	198 402	198 402	現行のま ま補助を 継続	指定文化財の保護・保存のた め、終期までは現行制度を継 続する。	その他	重要文化財の所有者は、消 防用設備の設置と有資格者に による設備点検が義務づけられ ており、その維持管理の万全 を期すためにも必要なこと から、現行のまま補助を継続 している。
78	教育委員会	条例等 (要綱等)	スポーツ合宿誘致 補助金	市内でスポーツ合 宿を行う団体	H 2 1	1,006 9,465	1,603 21,934	2,952 47,167	3,600 63,828	現行のま ま補助を 継続	地域スポーツの振興・発展の ため、終期までは現行制度を 継続する。	その他	合宿誘致は、市の施策の一 つとして位置付けられてお り、本市スポーツの振興を図 るうえで補助する必要がある ことから、現行のまま補助を 継続している。
79	教育委員会	条例等 (要綱等)	指導者派遣・養成 事業補助金	日本体育協会等公 認のスポーツ指導 者資格(指導員、 上級指導員等)を 取得する者	H 5	187 403	379 765	140 285	800 1,600	現行のま ま補助を 継続	地域スポーツの振興・発展の ため、終期までは現行制度を 継続する。	その他	地域のスポーツ・レクリ エーションの普及・振興と競 技力の向上のために、補助す ることが必要なことから、現 行のまま補助を継続してい る。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
80	保健福祉部	団体運営 (奨励的)	障害者・児歯科診療事業運営費補助金	一般社団法人函館歯科医師会	H 1 5	7,623 13,996	7,623 14,252	7,623 14,449	7,623 15,608	現行のまま補助を継続	障害者(児)の診療体制の確立のため、終期までは現行制度を継続する。	その他	過去3年の実績から検討した結果、依然、事業確立の必要性が高いことから、現行制度を継続した。
81	農林水産部	団体運営 (奨励的)	漁業共済加入促進補助金	函館市漁業協同組合ほか4組合	S 3 7	3,588 44,383	3,029 45,101	3,118 46,631	3,123 45,101	現行のまま補助を継続	平成24年度に見直しをした補助金であることから、終期までは現行制度を継続する。	その他	海洋環境の変化や台風による自然災害など、本市の漁業者の8割が従事する採藻漁業の漁獲量に大きな影響を与えるリスクに対しては、国が制度設計する当該共済制度への加入が有効であるため、現行どおりとした。
82	経済部	団体運営	渡島地方技能訓練協会補助金	渡島地方技能訓練協会	S 4 9	170 0	170 0	170 0	170 0	現行のまま補助を継続	技能労働者育成のため、終期までは現行制度を継続する。	その他	質の高い技能労働者の育成に一定の成果を上げており、現行のまま補助を継続する。
83	経済部	団体運営	北海道中小企業団体中央会道南支部補助金	北海道中小企業団体中央会道南支部	S 3 2	800 2,147	800 2,204	800 2,223	800 2,497	現行のまま補助を継続	中小企業の経営基盤強化のため、終期までは現行制度を継続する。	その他	当該補助金は、市内小規模事業者の経営基盤の充実を図るために事業に要する経費に対する補助であり、地域経済の活性化に大きく寄与するものであることから、現行制度を継続する。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
84	子ども未来部	団体運営	函館私学振興協議会補助金	学校法人野又学園(函館大学)	S 4 3	700 2,525	700 2,449	700 2,329	700 2,348	現行のまま補助を継続	教育の質の向上のため、終期までは現行制度を継続する。	見直し	今後、補助金交付先団体の組織構成や事業内容の大幅な変更が想定されることから、現行のまま補助を継続することとした。
85	子ども未来部	団体運営	北海道私立専修学校各種学校連合会 函館支部補助金	北海道私立専修学校各種学校連合会 函館支部	S 4 8	200 295	200 539	200 483	200 460	現行のまま補助を継続	平成24年度に見直しをした補助金であることから、終期までは現行制度を継続する。	見直し	H27に補助金の削減に係る基準を明確化した。当該基準を踏まえ交付先団体の事業費を精査し、現行のまま補助を継続することとした。
86	企画部	国道等	函館市バス生活路線維持費補助金	函館バス株式会社	H 1 3	38,781 356,769	40,217 362,406	34,387 339,945	34,387 339,945	その他	公共交通を将来にわたって持続可能なものとするためには、運行の効率化や利便性向上による利用促進などの対策を講じることが喫緊の課題であり、今後の公共交通のあり方を検討するなかで、補助対象路線を見直し、補助金の縮減に努めていく。	その他	現在、公共交通を将来にわたって持続可能なものとするため、ゾーンバスシステムを中心としたバス路線網の再編に取り組んでいるところであり、これにより補助対象路線の変更が見込まれるが、これらの見直しが行われるまでは現行どおりとした。H27決算、H28予算は燃料価格の減等により減額となったものである。
87	保健福祉部	国道等	軽費老人ホーム運営費補助金	社福)函館厚生院 (ペイアニエス)ほか4施設	H 1 7	124,598 424,974	133,242 399,074	134,223 426,072	136,232 436,078	その他	平成25年度から新たに補助基準となる利用料等取扱基準を国基準に準拠し制定したことから、今後は国の基準の改正に合わせ、見直しを進めること。	その他	平成27年4月1日付け、消費税率引き上げに伴う利用料の見直しにより「函館市軽費老人ホーム利用料等取扱基準」を一部改正した。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

2. 長期化・既得権化している事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
88	子ども未来部	国道等	母子家庭自立支援給付金支援事業費	個人補助(母子家庭の母等)	H16	47,728 47,728	35,977 35,977	31,249 31,249	40,786 40,786	その他	国の制度の改正に合わせ見直しを検討する。	その他	国による制度改革ではなく、ひとり親家庭の就業支援・経済的自立に向けて効果を上げていることから、現行のまま補助を継続することとした。
89	経済部	国道等	函館市シルバー人材センター補助金	公益社団法人函館市シルバー人材センター	S55	10,268 352,024	10,448 342,270	11,808 313,059	12,888 312,980	その他	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に位置づけられる支援であり、国の基準改正に合わせ見直しを検討する。	その他	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に位置づけられる支援である。国の基準に合わせて補助しており、現行のまま補助を継続する。
90	保健福祉部	条例等 (要綱等)	公衆浴場設備整備事業補助金	函館浴場協同組合に加入している浴場経営者で、前年度に北海道の要綱に基づき補助金の交付を受けた者	H8	330 785	0 0	360 983	760 2,446	その他	本補助制度は、北海道との協調補助制度であることから、道の制度に変更があった場合には速やかに見直しを行うとともに、今後、協調補助制度として維持していくかどうかについても検討する。	その他	施設・設備の老朽化を要因とした浴場の廃業があることから、「確保法」に基づく経費の一部助成により経営の安定化を図り、市民の普通浴場の利用機会を確保することは必要と考え、北海道との協調補助制度を維持する。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

3. 1, 2以外の事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況(結果)	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
1	教育委員会	まつり イベント	サマースクールin 函館開催補助金	サマースクールin 函館実行委員会	H22	180 695	80 539	—	—	見直した うえで補 助を継続	イベントの収支状況を再確認 し、補助金の縮減に努めると ともに、積算基準額を明確に する。	廃止	補助対象団体の自立運営に より、平成26年度末で補助 金を廃止した。
2	教育委員会	まつり イベント	はこだて国際民俗 芸術祭開催補助金	一般社団法人ワー ルズ・ミート・ ジャパン	H22	3,000 19,701	2,700 17,939	2,700 20,025	2,600 20,020	見直した うえで補 助を継続	イベントの収支状況を再確認 し、補助金の縮減に努めると ともに、積算基準額を明確に する。	見直し	事業内容や収支状況等を精 査し、平成26年度および平成28 年度に見直した。 H25 : 3,000千円 → H26 : 2,700千円 H27 : 2,700千円 → H28 : 2,600千円
3	教育委員会	まつり イベント	イカール国際 ミュージックキャ ンプ開催補助金	函館国際室内楽ア カデミー	H24	900 8,170	810 8,271	810 6,098	810 7,905	見直した うえで補 助を継続	平成24年度から交付を開始 した補助金であるが、イベン トの収支状況を再確認し、補 助対象経費の見直しを図り、 積算基準額を明確にする。	見直し	事業内容や収支状況等を精 査し、平成26年度に見直し た。 H25 : 900千円 → H26 : 810千円
4	保健福祉部	条例等 (要綱等)	福祉の店運営経費 補助金	社会福祉法人函館 一条	H24	720 7,505	720 8,638	720 8,567	720 7,443	現行のま ま補助を 継続	平成24年度に交付を開始し た補助金であることから、終 期までは現行制度を継続す る。	その他	団体の活動内容が、函館駅前 大門地区の活性化の促進およ び障がい者の社会参加の推進 を推進を図る目的に合致して いることを確認したことか ら、現行の補助を継続する。

平成27年度に終期を迎える補助金の見直し状況等一覧

3. 1, 2以外の事業

No.	所管部局	区分	補助金名	補助団体名	開始年度	上段：補助金額 下段：事業費額 (単位:千円)				前回のチェックシートの内容		見直し状況（結果）	
						H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算	見直しの 方向性	見直しの内容	分類	左記の内容
5	子ども未来部	条例等 (要綱等)	青少年自立支援活動費補助金	個人補助(自立援助ホーム入所者)	H24	0 0	100 270	100 287	100 287	現行のまま補助を継続	平成24年度に交付を開始した補助金であることから、終期までは現行制度を継続する。	その他	本補助事業による自動車免許所得により、自立援助ホーム入所者の就業につながるなど事業効果が出ており、現行のまま補助を継続することとした。
6	農林水産部	条例等 (要綱等)	農水産物生産品開発支援事業費補助金	応募のうえ審査委員会で事業認定された団体	H23	—	—	—	—	現行のまま補助を継続	平成23年度に交付を開始した補助金であることから、終期までは現行制度を継続する。	廃止	国において6次産業化を推進する補助事業が創設されたことに伴い、平成26年度末で補助金を廃止した。
7	農林水産部	条例等 (要綱等)	コンクター組織創出・推進支援事業費補助金	函館市亀田農業協同組合	H25	3,161 6,870	3,124 6,983	—	—	現行のまま補助を継続	平成25年度に交付を開始した補助金であることから、終期までは現行制度を継続する。	その他	平成25年度の開始以降、コンクター組織の創出により組織的な労働力が確保され、また、農作業機械の共同利用による経営の効率化が図られている成果を踏まえ、現行どおりとした。
8	都市建設部	条例等 (要綱等)	住宅リフォーム補助金	建築物所有者	H24	13,634 165,776	14,012 151,806	8,971 80,350	12,000 130,000	現行のまま補助を継続	平成24年度に交付を開始した補助金であることから、終期までは現行制度を継続する。	現行の まま補助を 継続	過去の利用状況等を勘案し、補助件数を削減した。
9	教育委員会	条例等 (要綱等)	通学バス運行経費補助金	陣川あさひ町会	H23	4,026 12,654	4,026 12,705	3,297 13,109	3,297 11,101	現行のまま補助を継続	平成23年度に交付を開始した補助金であることから、終期までは現行制度を継続する。	見直し	運行便数を見直したことにより、平成27年度に補助金を減額した。